

第3期安芸地域アクションプランの進捗状況等について

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 9 . 5
安芸地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（31 項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップに向けた栽培講習、改植事業等の勉強会などを開催するとともに、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

林業分野では、土佐備長炭について、室戸市有林の立木の売却について検討を開始するなどの関係者協議を進めるとともに、新規研修生の受入による後継者の育成に取り組んでいる。

水産業分野では、定置網漁業の漁獲物に高鮮度処理を施すことによる付加価値向上や、民間企業との連携による販売促進に取り組んでいる。

また、シラスについては平成 24 年度に整備した加工施設の加工処理能力の向上に対応できるよう、漁業者と加工施設との連携の強化などにより、漁業生産体制の構築をしていくとともに、販路拡大などに取り組んでいる。

観光分野では、高知県東部観光協議会を中心とした東部地域での広域的な観光振興の取り組みが始まっており、5 月末には教育旅行の受入を実施するとともに、旅行会社へのセールス活動や県外イベントでの PR 活動を行った。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐あき ・ J A 馬路村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(J A 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12 月) : 500 t <H26 : 449t ></p> <p>加工仕向量(1～12 月) : 5,000 t <H26 : 4,489t ></p> <p>(J A 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12 月) : 36 億円 <H26 : 32 億円 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>(J A 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12 月) : 350t</p> <p>加工仕向量(1～12 月) : 4,800t</p> <p>(J A 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12 月) : 32 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○新植・改植の推進 (J A 土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培講習、改植事業等の勉強会 (16 回) <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工原料の品質ワンランクアップ (J A 土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催:15回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・室戸木炭生産組合(仮称) ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>出荷量 : 1,580 t <H26 : 1,076 t ></p> <p>新規就労者数 : 26 人 (H28~31 累計)</p> <p style="padding-left: 20px;"><H24~27 11 人></p> <p>製炭窯設置 : 21 基 (H28~31 累計)</p> <p style="padding-left: 20px;"><H24~26 増設 7 基></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>出荷量 : 1,260 t</p> <p>新規就労者数 : 6 人</p> <p>製炭窯設置 : 5 基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量、原木調達状況等の状況調査 ・振興策の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ⇒室戸市有林の売却支援(分配方法の提案等) ⇒原木伐採のための作業道開設への支援
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エコアス馬路村 ・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>木製品出荷額 : 277,000 千円 <H26 : 251,910 千円 ></p> <p>加工部門雇用者数 : 27 人 (現状維持) <H26 : 27 人 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木製品出荷額 : 258,000 千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業主体の販売額などの状況調査 ・振興策の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市の情報発信拠点の閉館 <ul style="list-style-type: none"> 森の情報館・ECOASU 馬路村(高知市南御座)で住宅相談会を開催していたが、同館が H27 年度末に閉館したため、建築士との新たな企画、会議の場の設定が必要 ⇒新たな情報発信手段の検討
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額 : 20,000 千円 <H26 : 0 円 ></p> <p>簡易加工品の販売額 : 3,000 千円 <H26 : 0 円 ></p> <p>加工品販売額(有)タカシン水産室戸工場</p> <p style="padding-left: 20px;">: 1.5 億円 <H26 : 0.8 億円 ></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>[定置網漁獲物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 <p>[水産加工]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)タカシン水産 	<p>[H28 到達目標]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：2,000 千円 簡易加工品の販売額：300 千円 加工品販売額 (有)タカシン水産室戸工場)：80,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取り組み (室戸市定置協) <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁業者への技術指導を実施 (11 回) ・高鮮度処理魚の販売額：14 千円 (8/3 現在) ○簡易加工品の製造販売 (中芸定置協) <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工販売施設「加領郷魚舎」が開所 (5/4) ・簡易加工品の製造を加領郷魚舎へ委託、生産体制を構築 ・ニロギのオイル漬けの販売額：24 千円 (8/3 現在) ○タカシン水産による取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・新たな県版 HACCP (ステージ 2) の認証取得に向け HACCP 講習会に参加 (7/20・7/21) ・加工品販売額：12,048 千円 (5 月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理技術の定着 ⇒定置網漁業者への高鮮度処理技術の指導による定着及び実施体制の構築 ○簡易加工品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産拡大 ⇒新商品の開発と販路の開拓 ○タカシン水産による取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者の育成 ⇒HACCP 講習会への参加を通じた育成
<p>■No.8 安芸市のシラス漁業者所得の向上 (安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸漁協 ・(株)安芸水産 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>水揚げ金額 (1~12 月)：210,000 千円 <H26：201,740 千円></p> <p>シラス漁獲量 (1~12 月)：420 t <H26：393t ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>水揚げ金額 (1~12 月)：220,000 千円 シラス漁獲量 (1~12 月)：400 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮度維持や先進地視察の実施について安芸水産と協議：3 回 ・安芸「ちりめん井楽会」実行委員会：3 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラスの付加価値向上に向けた取り組み ⇒安芸市の「じゃこシティ」ブランド化の取り組み

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 加工施設に見合った原魚の確保 ⇒安芸及び周辺地域からの原魚の確保
<p>■No. 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・協同キラメッセ室戸(有) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 370,000 千円<H26 : 308,334 千円> 来場者数 : 260,000 人<H26 : 230,887 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高 : 350,000 千円 来場者数 : 250,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による庭先集荷の実施(中川内地区) ・中山間農業複合経営拠点セミナーへの参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の生鮮品不足 ・農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 ⇒中山間農業複合経営拠点セミナーを通し、運営主体による農業経営の可能性及び持続可能な集荷体制の構築を検討
<p>■No. 11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 168,990 千円<H26 : 141,938 千円> 来場者数 : 180,000 人<H26 : 157,790 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高 : 162,412 千円 来場者数 : 180,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入 (修学旅行生 169 人分の昼食(弁当)の提供と土産物の販売) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体客など多客時の対応 ⇒施設の改修や受入体制などについて関係者間での協議
<p>■No. 12 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)熊谷ファーム 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 20,000 千円<H26 : 0 円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高 : 13,500 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町単補助金の活用により自社 HP を作製中(9 月完成予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場の整備 ⇒既存公共施設(廃校跡)の活用などについて検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・JA 土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・奈半利のおかって加工グループ ・加領郷魚舎加工グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>J A加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,120 千円 <H26 : 5,140 千円></p> <p>農水産加工施設の売上高 : 9,000 千円 <H26 : 0 千円></p> <p>水産加工施設の売上高 : 12,000 千円 <H26 : 3,220 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>J A加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 7,887 千円 農水産加工施設の売上高 : 5,000 千円 水産加工施設の売上高 : 5,600 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業開始(5/3) ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(23回) ・食品表示勉強会の実施 ・メディア内覧会の実施 <p>○水産加工施設(加領郷魚舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業開始(5/4) ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(16回) ・相談会及び商談会への参加(6回) ・食品表示勉強会の実施 ・メディア内覧会の実施 ・中芸定置網漁業振興協議会から簡易加工品(ニロギのオイル漬け)の生産を受託 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工商品の販路拡大及び販売体制の強化 ⇒積極的な商談会への参加による販路拡大及びアドバイザーによる指導やグループとの協議による販売体制の強化
<p>■No. 14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>体験受入回数 : 28 回<H25 : 24 回></p> <p>受入人数 : 計 1,423 人(体験 271 人、見学 1,152 人) <H25 : 計 1,186 人(体験 226 人、見学 : 960 人) ></p> <p>塩関連での就業者数 : 10 人(累計) <H26 : 2 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>体験受入回数 : 25 回</p> <p>受入人数 : 計 1,245 人(体験 237 人、見学 1,008 人)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>(産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年6月町議会で、塩職人養成に向けた補正予算(製塩ハウス用地取得費及び建設実施設計委託)を措置 ・今年度中に用地取得と実施設計を行い、H29年度に製塩ハウス2棟を建設予定 ・製塩ハウスを民間事業者又は塩職人希望者に賃貸し、民間事業者の指導のもと、塩づくりの修業と塩の増産に活用する方向 <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる集客が見込まれる新たな体験メニューの造成 ・地域内での周遊促進のため、今後、志国高知幕末維新博と連動した取り組みを行う予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全天日塩の活用による産業振興に向けた計画の策定と実行 ・塩職人希望者の受入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での調整 ⇒今年度中に製塩ハウスの用地取得及び実施設計の策定を実施 <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩体験施設の運営体制の確立 ・集客のためのPR ⇒志国高知幕末維新博に向け、田野町の観光クラスターの構成施設に位置づけ、磨き上げを図ることによる集客力のアップ
<p>■No. 15 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>年間売上高(1～12月): 400,000千円 <H26: 258,729千円></p> <p>年間入込数(1～12月): 265千人<H26: 221千人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>年間売上高(1～12月): 294,047千円 年間入込数(1～12月): 232千人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、道の駅指定管理者及び地域本部による情報共有会議の開催(4月～、月1回開催) ⇒看板や冷蔵庫等の設備整備、トイレの洋式化(今年度中の実施を予定)、町広報への生産者募集記事掲載、新たな夏期イベントの検討などの取り組みが進行

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の方向性について町の方針の明確化 (機能強化のための施設整備等、小さな拠点化など) ・ 直販・飲食機能の強化 (店舗の狭隘^{あい}、生産者の高齢化に伴う野菜等の商品不足、地産外商への取り組み等) ・ 地元食材を活用した魅力ある加工品の開発・販売の強化 ・ 情報発信機能の強化 ・ 人材育成 ・ 町と道の駅指定管理者間の情報共有体制の確立 ⇒情報共有会議の継続による、関係者間での課題の共有
<p>■No. 16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸西村 ・ (有)かっぱ市 ・ 生産者グループ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高：200,000千円<H26：135,000千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高：165,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品試作 ・ 販売計画目標と新商品の開発に係る進捗管理、集荷システムの導入の検討、集落活動センターとの連携等について関係者協議：2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花卉類等の出展量の確保 ・ 新商品の開発 ⇒相談会等への参加・テストマーケティングの実施 ・ 製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討
<p>■No. 17 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (一社)高知県東部観光協議会 ・ 安芸広域市町村圏事務組合 ・ 市町村 ・ 観光協会等 ・ 地域団体 ・ 民間事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1~12月) ：2,606,000人<H27：2,401,821人></p> <p>圏内宿泊者数(1~12月) ：150,000人<H27：138,229人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月)：2,402,000人 圏内宿泊者数(1~12月)：139,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東観協が新たなパンフレット(土佐食日記)を配布(4月) ・ 東観協の事務局次長1名及び企画スタッフ1名配置(5月) ・ 志国高知幕末維新博関連のアドバイザーが東部地域の各観光施設を訪問してアドバイスを実施(4回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾開催(3回) ・旅行会社等へのセールス活動(11日) ・県外イベント等でのPR(2日) ・教育旅行の受入れ(1件) ・東部地域の広域イベント(「安芸・室戸パシフィックライド2016」(12/4開催予定))の実行委員会開催(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における農業や漁業の体験学習の時間設定や天候不順の際の対応 <p style="padding-left: 20px;">⇒11月(1校)及び来年5月(4校)の教育旅行の受入れに向けた、受入実績を踏まえた課題の共有及びその改善策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における民泊登録世帯の増 <p style="padding-left: 20px;">⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、掘り起こしを実施(8月～)</p>
<p>■No.18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,500人<H26:846人> 拠点施設年間来館者数 :1,000人<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会総会の開催 ・日本遺産申請に向けた各関係機関との協議を実施 ・中芸広域連合長・副連合長会において、日本遺産申請に向けて中芸5町村で取り組むことに合意 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会総会出席者に対し林鉄セミナーを実施(1回) ・林鉄ガイド実績:11回実施(計210名) ・日本遺産申請に向けた推進協議会設立準備会を開催(7/6、7/28) ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会設立総会開催(8/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬森林鉄道遺産の活用と普及啓発活動 <p style="padding-left: 20px;">⇒日本遺産への申請に向け、中芸5町村が主体となって取り組みを進めていくための連携体制の構築</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒日本遺産申請のための組織に参画する各種団体との調整</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 10,000 人 <H26 : 7,869 人></p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000 人 <H26 : 0 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 8,000 人 室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(室戸ジオパーク推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「ジオパークで見る日本の地質 in 室戸ユネスコ世界ジオパーク展」開催(4/23~6/30) ・企画展「室戸ユネスコ世界ジオパーク深海博 2016」開催(7/1~8/31) ・室戸世界ジオパーク推進協議会総会(5/18)にて、室戸ジオパーク第3期実行計画(2016~2019)を策定(室戸市) ・H28年6月市議会で室戸世界ジオパークセンターの展示内容を充実させるための補正予算を措置 ・ジオサイトの磨き上げ(御厨人窟の活用検討) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオツアーに関わる人員の確保 ⇒ジオツアーの開発、磨き上げについて協議するジオツアーリズム推進チーム会を開催し、ジオツアーの実施体制について検討 ・ジオパークセンターの機能強化 ⇒展示内容の見直し(海底地形のジオラマ、生痕化石のレプリカ制作等) ⇒センターを拠点とする周遊モデルコースの造成
<p>■No. 20 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社) うみ路 ・室戸市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 31,000 人 <H26 : 24,431 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 30,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ドルフィンセンターでのイベント実施 : 5 回 ・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験) : 1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)の周知 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者で連携した広報を検討
<p>■No. 21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 安芸市 安芸市観光協会 漁協 伊尾木あなごう保存会 内原野陶芸館 JA土佐あき 安芸市観光ボランティアガイドの会 廓中ふるさと館 メリーガーデン はたやま夢楽 安芸「釜あげちりめん井」楽会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人 <H26: 196,895人> 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 45,000食 <H26: 40,846食></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>市内年間観光客数 : 208,000人 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 45,000食</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開幕予定の志国高知幕末維新博に向けた、リアル化、クラスター化計画の策定を行うための協議会の立ち上げ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 周遊観光メニューの充実 体験プログラムの新たな造成と磨き上げ ⇒シラス漁、果実収穫作業等のモニターツアーを計画
<p>■No. 22 東洋町における体験観光の推進(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 東洋町 地元マリンスポーツ関係事業者 東洋町観光振興協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>体験者数 : 5,000人 <H27: 0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>体験者数 : 1,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐の観光創生塾への参加 : 3回(4人) 高知家杯東洋町SUP選手権大会の開催(参加選手40名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を生かした体験プログラムの周知及びサーフィン客等の受入施設の整備 ⇒平成27年度に作成した東洋町観光アプリ(TOYOナビ)を活用するとともに、サーフィン客へのアンケート調査を実施し、必要な施設整備を検討
<p>■No. 23 藤村製絲を活用した観光振興(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤村製絲(株) 奈半利町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>来館者数(1~12月) : 1,500人 <H26: 0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>来館者数(1~12月) : 800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> なはり浦の会総会(5月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・なはり観光文化協会 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製絲記念館の活用拡大 ⇒奈半利町制 100 周年記念イベントの一環として、奈半利駅構内への案内看板の設置や、関連イベント実施に向けた検討会を開催
<p>■No. 24 北川村観光 3 施設の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・榊きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 : 100,000 人 <H26 : 80,983 人></p> <p>(モネの庭 : 65,000 人) <H26 : 53,174 人> (北川村温泉 : 28,000 人) <H26 : 21,682 人> (中岡慎太郎館 : 7,000 人) <H26 : 6,127 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 : 69,000 人 (モネの庭 : 62,000 人) (北川村温泉は閉館中) (中岡慎太郎館 : 7,000 人)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中岡慎太郎先生顕彰会が NPO 法人化 (6 月) ・モネの庭職員の接客マナー研修の開催 (4 回) ・モネの庭のレストラン部分のリニューアルのための産振アドバイザーの活用 (1 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 月に発生した火災により休業しているモネの庭のレストラン部分の年度内リニューアル及び現在閉館中の北川村温泉のリニューアル工事の平成 29 年度末までの完成 ⇒財源を含めたリニューアルの方向性を検討中 ・北川村内の周遊の仕組みづくり ⇒中岡慎太郎館を中心とした 3 施設の連携による観光クラスターの整備
<p>■No. 27 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・集落活動センター運営主体 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県集落活動センター連絡協議会への参画 (6 月) ・平成 28 年度第 1 回社員総会及び理事会の開催 ・平成 28 年度第 1 回なはりの郷活性化協議会の開催 ・関係機関等との協議 (15 回) ・関連クラスターの協議 (4 回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業複合経営拠点運営委員会の設置及びセミナーへの参加(5回) ・「弘瀬家住宅」に事務所機能を設けて本格的な活動を開始(7/1～) ・奈半利駅物産館及び奈半利町海浜センターの管理運営(7/1～) ・集落活動センター活用事業の実施(なはりの町屋切り絵展(7/25～8/30)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターなはりの郷の円滑な事業の遂行 ⇒同センターが実施するふるさと納税返礼品に係る事業、直販所運営事業、移住促進事業などについて、県関係機関と町が連携し、情報提供などにより、各事業の円滑な推進を支援
<p>■No. 28 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<p>[目標(H31)]</p> <p>交流人口 : 3,600人<H26:3,329人> じねんレジ通過者 : 28,000人<H26:25,711人> 集落活動センター利用者数 : 3,200人 <H26.12月～H27.3月:689人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>交流人口 : 3,400人 じねんレジ通過者 : 26,400人 集落活動センター利用者数 : 2,400人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知大学との連携(えんむすび隊:自然薯栽培支援及び地域住民とのワークショップ実施、医学部看護学科:地域生活者支援実習) ・集落活動センター推進事業費(経済活動拡充支援事業)補助金を活用した自然薯栽培用資材の導入 ・安田町ふるさと応援隊の追加募集(8/1～募集開始) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を軌道に乗せていくための仕組みづくり ⇒さらなる栽培面積の拡大と販路の確保等への取り組み ・旧中山小中学校の活用策の検討 ⇒役場内での素案づくりと住民・関係機関を含めた検討委員会での活用案の策定 ・開幕予定の志国高知幕末維新博との連携 ⇒町内の周遊ルートづくりや特産品販売等の計画づくりに参画

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 集落活動センターの円滑な運営の継続 ⇒応援隊の追加導入
<p>■No.31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸西村 集落活動センター運営主体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者協議(推進協議会1回開催) 高知県集落活動センター連絡協議会への参画 地域住民との勉強会の開催(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の幅広い参画、プレイヤーの確保 ⇒集落活動センターを中心とした掘り起こしの実施 (先進事例の勉強会と住民ワークショップの開催)

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目 該当なし

4 県民参画に向けた取組

- 産業振興計画シンポジウムの開催(田野町、5/18)
- 安芸市木曜会6月定例会での第3期計画の説明(5/26)
- 四国銀行との勉強会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明(8/18)
- その他、管内事業者等への研修会(HACCP研修、土佐MBA、土佐FBC等)や商談会などの開催の周知

5 相談案件:6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/1	鮮魚卸	魚の加工をしたいが、どうしたらよいか。
2	4月下旬	雑貨	参加できる見本市等はないか。
3	4月下旬	食品加工	社員研修に係る費用に対する補助制度がないか。
4	5/30	食品加工	商品を保管する冷蔵庫等を導入したい。
5	6/6	食品加工	見本市出展費用に対する補助事業がないか。
6	7/13	食品加工	精肉用真空包装機械を導入したい。